

【緑区】令和 6 年 第 2 回 区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 6 年 6 月 11 日 午後 3 時 00 分 ～ 午後 3 時 45 分
場 所	緑区役所 4 階 会議室 4 A B
出席者	<p>【座 長】 齊藤達也 議員</p> <p>【議員：3 名】 鴨志田啓介 議員、高橋正治 議員、越久田記子 議員</p> <p>【緑区：23 名】 佐藤康博 区長、河村義秀 副区長</p> <p>宮嶋真理子 福祉保健センター長</p> <p>安達恒介 福祉保健センター担当部長</p> <p>得能千秋 緑土木事務所長</p> <p>高倉徹 担当部長（緑図書館長） ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 6 年度 緑区運営方針</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（令和 6 年度一般会計当初予算）</p> <p>3 令和 6 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1 令和 6 年度 緑区運営方針 (区長説明)</p> <p>議題 2 緑区に係る予算のすがた（令和 6 年度一般会計当初予算） (区長説明)</p> <p>議題 3 令和 6 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況 (区長、副区長説明)</p> <p>【 1 災害に強いまちづくり事業】 越久田議員：(8) 妊産婦に向けた啓発事業について、乳幼児健診での啓発はどのような形をとっているのか。 齋藤総務課長：災害に備えて、小さなお子さんがいる方や妊産婦に対して、必要な備蓄のポイントや備蓄品チェックリスト、お子さんを守るため普段からの安全対策を啓発するクリアファイルを作成して、母親教室などで配布しています。また、災害時用の離乳食を備蓄し、啓発用として活用しています。その他、母親教室で防災講話を実施しています。</p> <p>【 5 暮らしの衛生推進事業】 越久田議員：前年度のペット同行避難スターターキットの配備状況について、今年度のペット同行避難スターターキットの配備予定及び</p>

今年度、実際にペットを同行させての避難訓練を実施する拠点の数は。

田中生活衛生課長：前年度にペット同行避難スターターキットを配備した拠点は、22拠点中10拠点で、R4年度と併せると16拠点になります。未配備拠点が残り6拠点あり、進みづらい拠点が残っていますが、今年度は6拠点を目指して取り組んでいきます。今年度、実際にペットを連れた同行避難訓練を実施する拠点は、まだ決まっていません。昨年度の状況を踏まえ、拠点に対して実施について働きかけながら、訓練を実施可能か検討していきます。

鴨志田議員：甚大な被害が想定される風水害時のペット同行避難はどのように行う想定か。

田中生活衛生課長：風水害時は、地震時の地域防災拠点とは位置づけの異なる風水害時に開設される避難所に避難します。大規模な台風等による水害の発生は、あらかじめ予想できるため、被害が想定されない地域に住んでいる身近な方に預ける、獣医師会の動物病院などのかかりつけの動物病院に預けることなどを案内しています。

鴨志田議員：風水害時には、行政が立ち上げる避難所に避難することになるが、ペットは避難所のどこに避難させるのか。

田中生活衛生課長：風水害時の避難所も、学校が中心であり、屋内となるかは学校との調整次第ですが、それら避難場所でペットが受け入れられるよう区役所からの調整を行っています。

鴨志田議員：あらかじめ確保された特定の避難受入エリアがあれば、風水害発生見込み時に被害の無いエリア・施設などでケージ等を置いてペットを預け、風水害が終わったら迎えに来てもらうなどができると思うが、そういうことは考えられるか。

田中生活衛生課長：動物を避難受入するエリア・設備ということでは、動物愛護センター等に災害時に設置する動物救援センター以外は、現状考えられていません。

高橋議員：ペットの同行避難について、理解へのプロセスを踏む必要があり、区連会での理解を進める必要があるが、進捗状況は。

田中生活衛生課長：区連会ではここ数年話題にしていますが、防災拠点の運営委員長を連長が務めていることが多く、運営委員長が集まる会議において、ペットの同行避難は、人の避難ために必要な対策であり、同行避難の受け入れが進むようにということ

毎年お伝えしています。

高橋議員：各地域で計画を立てないと進まないの、計画を立てるためのチェックシートなども活用しながら、進める必要がある。

佐藤区長：緑区ではここ数年、防災拠点あるいはその他の会議においても度々ペット同行避難について議題としお伝えしており、能登半島地震も踏まえ、いろいろな意味で地域の方の意識は高まっていると実感しています。一方で、大型犬の扱いなどの課題もあります。学校側の協力も必要です。様々ありますが、区としてはできる限り受け入れが可能となるように調整をしていきたいと考えています。

齊藤議員：ペット防災4人の議員が皆発言するなど画期的である。10年前は孤軍奮闘だったが、今はそれだけ市民の関心も高まっている。区連会で説明する、区連会で取組をしている連長に発言してもらう等、理解を醸成していくステップは大事である。そして、実は獣医師会さんが、この部分積極的に協力したいとの思いがある。静岡市の事例であるが、ペットスペース設営ボックスを76か所おいているとのこと。他都市の事例を参考にしながら着地点を見つけていくのが良いのではないか。防災拠点の訓練にも獣医師会が協力できるという話も出ていた。連携する、協定を結ぶこともよいのではないか。また、風水害については、獣医師会が是非協定を結びたいと言っている。獣医師会の獣医師で、風水害時のペットの受け入れについて手を挙げているところもあるので、こういう情報を区民へ周知をすることも大切であり、そういうところでの専門家との連携が大事である。

【13 障害者自主製品販売支援・障害理解等促進事業】

越久田議員：ラッピングバスは、どのようなデザインになり、どれくらいの路線で走るのか。

河合高齢・障害支援課長：ラッピングバスの内容について検討しているところです。障害者が作成したアートを用いることを考えています。路線についても未定です。

【18 みどり地域まちづくり推進事業】

高橋議員：山下地域交流センターについて、災害が来る前に計画を立てないといけないと考える。今後の見通しは。

佐藤区長：山下地域交流センターについては、過去の耐震調査で厳しい状

況となり、地域と話をし、一旦使用をやめることとし、その後の調整をしています。すべて公費というのは難しいなかで、できる限り早い時期に事業化できるように働きかけをしているところでもあります。

齊藤議員：山下地域交流センターについては、サウンディングとかプロポーザルとか方法があると思うが、一刻も早く施設を使えるようにしてほしい。

【29 みどりスポーツ振興事業】

越久田議員：パリオリンピック・パラリンピック関連事業の具体的計画は。

瀬谷地域振興課長：現在のところ、具体的には決まっていますが、講演会や競技種目に関するイベントが出来たらいいと考えています。

【30 広報・広聴事業】

越久田議員：緑区「ふれ愛トーク」の開催について、ウェブサイト等となっているが、ウェブサイトのほかに紹介する計画はあるのか。

吉田区政推進課長：ウェブサイトでの報告と併せて、広報よこはま6月号に昨年度の実施状況を掲載しています。

【出産費用助成金について】

鴨志田議員：市独自で行う出産費用助成金について緑区でのPRはどう考えているのか。

宮嶋福祉保健センター長：大判のポスターを庁舎内に掲示しています。今後、追加でポスターが配布されるので、区内の身近な商業施設での掲示を依頼していきたいです。直近では、区との包括連携協定に基づき、ビーンズ中山の無印良品の店舗内で、チラシを配布しています。また、区窓口では、母子健康手帳交付時にチラシを渡しています。

【出産ナビについて】

鴨志田議員：緑区では国の「出産ナビ」を広報していかないのか。

宮嶋福祉保健センター長：国、市子ども青少年局がHPで病院紹介を行っていることは承知しています。母子健康手帳交付時に、ほとんどの方が出産する病院を決めているが、まだ決まっていない方にむけて、こうした情報をPRしていきたいと考えています。

【区役所DXについて】

鴨志田議員：区役所のDXについて、区役所と土木事務所の無線LANの設置状況について教えてほしい。

齋藤総務課長：区役所に来庁者向けの無線LANは設置していません。今後要望や予算の状況などを踏まえ検討していきたいと考えています。

得能土木事務所長：土木事務所のYCANの無線化は進んでおらず、予算要求を含め対応していきたいと考えています。

【運営方針について】

鴨志田議員：区政運営方針において、18区で最も緑が多い緑区なので、緑をもっとアピールしてほしい。また、資源循環では、GREEN×EXPO 2027に来た外国人が十日市場駅にはごみ一つなく、緑区は緑だなと思わせたい。

佐藤区長：GREEN×EXPO 2027が近づくにつれて、これまで以上に強化していくスタンスです。特に、十日市場駅周辺にごみがないということは、環境事業推進委員の総会が行われた際に、ごみを拾うことが一番わかりやすい行動師範と考えていると会長にお伝えしています。反対に緑が多いことは、不法投棄を誘発することになりかねないので、区も率先して対策していきたいと考えています。

鴨志田議員：緑区を横浜で、もしくは関東圏、日本で一番、きれいで緑あふれる街となるようにしていきたい。

【GREEN×EXPO 2027】

高橋議員：交通対策について、シミュレーションをして課題を洗い出す必要があると考えるが区としての問題意識は。

佐藤区長：区としても交通問題は重要な課題として認識しており、区連会でも特に西側方面の連長から、心配の声をいただいています。引き続き、土木事務所と連携して、トラブルを未然に防げるように、当該局に要望をあげているところです。

【がけ地対策】

齋藤議員：緑区はがけ地が多いので、点検をしてほしい。

佐藤区長：がけ地の調査及び対策は、人的・費用的コストは非常な膨大なものとなっています。今日いただいたご意見は、民有地のがけ

	<p>の所管局である建築局に伝え、区でも過去に災害が起きた場所については、地域と連携しながら出来るところからチェックしていきたいと考えています。建築局ががけパトロールを行っているので、これと連携しながら、連長から情報提供をお願いすることも必要と考えています。</p> <p>齊藤議員：以前の白山の件を振り返ると、周囲の人も危ないと言っていたが、言いようが無かった。気になる崖に関する情報は、共有してほしい。地権者だけでなく周辺の住民の方の問題でもある。</p> <p>【グラウンドの夜間照明】</p> <p>齊藤議員：小中学校の夜間のグラウンド開放を考えてほしいが、夜間照明が緑区にはない。にぎわいスポーツ文化局に確認したが、地元から声を上げれば対応していきたいと言っていたので、区としても、実態を把握しながら、出来そうな小中学校をピックアップしながら進めてほしい。</p> <p>瀬谷地域振興課長：長坂谷公園の多目的広場や十日市場のスポーツ広場の開放を8月末まで19時までにする対応をとっていますが、いただいたご意見を、にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課に区役所としても伝えていきます。</p>
備 考	